

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【公表番号】特表2003-530344(P2003-530344A)

【公表日】平成15年10月14日(2003.10.14)

【出願番号】特願2001-574093(P2001-574093)

【国際特許分類】

A 6 1 K	9/72	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 K	9/16	(2006.01)
A 6 1 K	31/40	(2006.01)
A 6 1 K	31/46	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/36	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	9/72	
A 6 1 K	9/12	
A 6 1 K	9/14	
A 6 1 K	9/16	
A 6 1 K	31/40	
A 6 1 K	31/46	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	47/12	
A 6 1 K	47/36	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年6月1日(2012.6.1)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

本発明の好適な態様において、該組成物は乾燥粉末の形状であり、乾燥粉末吸入器(DPI)を用いて送達する。乾燥粉末吸入器は既知である。吸入器に使用する乾燥粉末は通常、質量平均空気力学的直径が $30\text{ }\mu\text{m}$ 未満、好ましくは $20\text{ }\mu\text{m}$ 未満、より好ましくは $10\text{ }\mu\text{m}$ 未満である。 $5\sim0.5\text{ }\mu\text{m}$ の範囲の空気力学的直径を有するミクロ粒子は一般に呼吸器細気管支に沈着するが、一方、空気力学的直径が $2\sim0.05\text{ }\mu\text{m}$ の小粒子は肺胞に沈着すると思われる。